



木脇中
学校だより

「夢」実現

ゆめじつげん

第R6-10

～地域とともにある木脇中～

発行元：
国富町立木脇中学校
(文責 校長・向江)
令和6年12月24日

2学期終業の日「一年の計は元旦にあり。1年後の自分の姿は？」

「今年の漢字」が『金』に決まりました。パリオリンピックでの「金メダル」ラッシュや「大金」目当ての「闇バイト」、政治の「裏金」問題など、一年を通じて「お金」にまつわる話題が途切れなかったことが選定理由ということです。

さて、今年はコロナも落ち着き、「中体連の大会」や「文化・合唱発表会」、「国富探訪」、「修学旅行」等の教育活動も計画通りに実施することができ、内心「ホッ」としています。

さて、冬休みはクリスマスや正月などの楽しいイベントがある反面、常に危険と背中合わせです。次の3点には、十分気をつけて生活しましょう。特に、3年生は高校受験を間近

に控えていますので、インフルエンザ等に感染しないように、自分の身を守る行動をお願いします。

①ネットトラブル ②インフルエンザ感染 ③交通事故

また、「一年の計は元旦にあり」と言われます。年の「節目」で、自分を変えるチャンスでもあります。1年後の自分を思い描き、そんな自分になるためには「何をすべきか」、しっかり目標や計画を立て、新たな気持ちで新年を迎えましょう！



特集 2学期を画像で振り返る

2学期は数多くの行事がありました。生徒は行事に追われながらも、計画的に1つずつ着実に結果を残していました！

1 実現 文化・合唱発表会

10/31、昨年までの合唱発表会から、クラス対抗クイズ大会、個人発表にまで拡大し、「文化・合唱発表会」を実施することができました。生徒会執行部の熱意と行動力には頭が下がります。天晴れです！！



クイズ大会

2 地域の力、拠点校の成果

現在、町教委が部活動の「地域移行」を進め、本校のサッカー部も拠点校となり、「地区秋季大会」で3位入賞、スポ少の女子ソフトテニスで個人で1年生ペアが準優勝に輝き、ともに県大会に出場しました。



3 国富町PR大作戦

12/10、2年生は修学旅行で、大阪市天神橋筋商店街において、特産物の「千切り大根」を配付し、国富町をPRしました。



4 愛拶運動・美化活動

現生徒会執行部は、先輩の取組を継承し、「毎週水曜日の愛拶運動」や玄関前の花壇の「花の手入れ」に取り組んでいます。



5 国富のよさ体感

12/5、1年生は国富の魅力を再発見するために、「国富探訪」を実施しました。今回の取材を「修学旅行のPR大作戦」につなげます。



6 総合学習発表会

10/3、3年生は保護者やお世話になった地域の方を招待し、「総合学習」の3年間の成果を発表しました。



7 受験生へ变身

9/3-4、夏休みが終わり、部活動も引退した3年生は、いよいよ受験生に変身し、地区実力テストに立ち向かっていました。



8 中学生講演会

11/12、アリーナくにとみにおいて、国富町出身のバイオリニスト・山下達哉さんの講演+演奏会が実施されました。



バイオリン体験

9 「命を守る」備えを点検

8/8の夕刻、震度6弱の地震が発生し、「南海トラフ巨大地震(注意)」が出されました。調査委員会は「M8～9級の地震が30年以内に起きる確率は70～80%」としています。



10 まさかの「竜巻」が...

8/28、台風10号接近に伴って、午後2時頃から国富町をはじめ県内各地で竜巻が発生し、甚大な被害をもたらしました。



その他 ①新 下校見守り

9/6、学校運営協議会で、「小学生の下校見守り」の実施が決定しました。次回の協議会は、委員のほかには学校職員、区長等で大「熟議」を行います。



速報 修学旅行

12/10(火)～12/12(木)の3日間、2年生の修学旅行を実施しました。大阪市で「国富町PR大作戦」、奈良の南大門や東大寺、大仏殿を見学、京都では班別自主研修、そして最後にUSJを満喫し、充実した修学旅行となりました。中学時代の思い出の一つとして、いつまでも記憶に留めておいてくださいね。(今回は、主なものを紹介します。詳細は、画像の整理ができ次第、HPにアップします。)



国富町PR大作戦



東大寺



京都自主研修



USJ



1月の行事予定

～6(月)冬季休業 / 7(火)仕事始め、3学期始業の日・愛の一声あいさつ運動 / 9(木)・10(金)実力テスト【2・3年】 / 10(金)新春子どもの声を聞く会 / 15(水)町読書の日 / 27(月)～教育相談週間 / 28(火)・29(水)私立高校入試【3年】



「つづき」
一昔前、怖いものといえば「地震、雷、火事、親父」でした。が、今や親父は権威を失い、「台風」「竜巻」「線状降水帯」が取って代わる勢いです。元日に発生した能登半島地震の復興は遅れ、死者が426人に増加し、線状降水帯の被害も増加傾向にあります。我々は、改めて「自然に対する畏敬の念」を抱く必要がありそうです。(向江)

◆木脇中ホームページ◆

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4143/>

木脇中

検索

